OMRON

形 KP40J
ソーラーパワーコンディショナ

AICOT

取扱説明書

この取扱説明書は、ソーラーパワーコンディショナの機能と使い方について解説しています。
ご使用になるときは、本書をよくお読みいただいて正しくお取り扱いください。
また、いつでも利用できるように大切に保管ください。

施工・保守の方へ

施工・保守については、「施工・保守マニュアル」（NO. 1166908-0）をご覧ください。

お客様へ

形 KP-DP1 をご購入の場合は、形 KP-DP1「取扱説明書」（NO. 7452674-2）も併せてご覧ください。

形 KP-CM-SET をご購入の場合は、形 KP-CM-D1「取扱説明書」（NO. 9060231-9）も併せてご覧ください。

品番 1166663-3　A

もくじ

はじめに	2
ご使用に際してのご承諾事項	2
安全上のご注意	3
安全上の要点	4
使用上の注意	4
太陽光発電システムについて	5
各部の名称	6
通常時の使い方（連系運転）	8
停電時の使い方（自立運転）	9
積算電力量の表示方法（昼間）	10
積算電力量の表示方法（夜間）	11
ユーザ積算電力量のリセット方法	12
お手入れ	13
日常点検	14
定格と仕様	15
故障かな？と思ったら	16
エラーの確認方法	16
エラーの内容と処置方法	18
エラー表示一覧	21
アフターサービスと保証	22
保証書	23

はじめに

このたびは、ソーラーパワーコンディショナ(以下パワーコンディショナ)をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この取扱説明書では、パワーコンディショナを使用する上で、必要な機能、性能、使用方法などの情報を記載しています。

パワーコンディショナをご使用に際して下記のことを守ってください。

この取扱説明書をよくお読みになり、十分にご理解のうえ、正しくご使用ください。

この取扱説明書はいつでも参照できるよう大切に保管ください。

ご使用に際してのご承諾事項

1．保証内容

①保証期間

本製品の保証期間は、ご購入後またはご指定の場所に納入後１年といたします。

②保証範囲

上記保証期間中に当社側の責により本製品に故障を生じた場合は、代替品の提供または故障品の修理対応を、製品の購入場所において無償で実施いたします。

ただし、故障の原因が次に該当する場合は、この保証の対象範囲から除外いたします。

a）カタログまたは取扱説明書などに記載されている以外の条件･環境･取扱いならびにご使用による場合
b）本製品以外の原因の場合
c）当社以外による改造または修理による場合
d）本製品本来の使い方以外の使用による場合
e）当社出荷当時の科学・技術の水準では予見できなかった場合
f）その他、天災、災害など当社側の責ではない原因による場合

なお、ここでの保証は、本製品単体の保証を意味するもので、本製品の故障により誘発される損害は保証の対象から除かれるものとします。

2．責任の制限

①本製品に起因して生じた特別損害、間接損害、または消極損害に関しては、当社はいかなる場合も責任を負いません。

②プログラミング可能な本製品については当社以外の者が行ったプログラム、またはそれにより生じた結果について当社は責任を負いません。

3．適合用途の条件

①製品を他の商品と組み合わせて使用される場合、お客様が適合すべき規格・法規または規制をご確認ください。また、お客様が使用されるシステム、機械、装置への本製品の適合性は、お客様自身でご確認ください。これらを実施されない場合は、当社は本製品の適合性について責任を負いません。

②下記用途に使用される場合、当社営業担当者までご相談のうえ仕様書などによりご確認いただくとともに、定格・性能に対し余裕を持った使い方や、万一故障があっても危険を最小にする安全回路などの安全対策を講じてください。

a）屋外の用途、潜在的な化学的汚染あるいは電気的妨害を被る用途またはカタログ・取扱説明書などに記載のない条件や環境での使用
b）原子力制御設備、焼却設備、鉄道・航空・車両設備、医用機械、娯楽機械、安全装置、および行政機関や個別業界の規制に従う設備
c）人命や財産に危険が及びうるシステム・機械・装置
d）ガス、水道、電気の供給システムや 24 時間連続運転システムなど高い信頼性が必要な設備
e）その他、上記 a）～d）に準ずる、高度な安全性が必要とされる用途

③お客様が本製品を人命や財産に重大な危険を及ぼすような用途に使用される場合には、システム全体として危険を知らせたり、冗長設計により必要な安全性を確保できるよう設計されていること、および本製品が全体の中で意図した用途に対して適切に配電・設置されていることを必ず事前に確認してください。

④カタログなどに記載されているアプリケーション事例は参考用ですので、ご採用に際しては機器・装置の機能や安全性をご確認のうえ、ご使用ください。

⑤本製品が正しく使用されずお客様または第三者に不測の損害が生じることがないよう使用上の禁止事項および注意事項をすべてご理解のうえ守ってください。

4．仕様の変更

カタログ・取扱説明書などに記載の商品の仕様および付属品は改善またはその他の事由により、必要に応じて、変更する場合があります。当社営業担当者までご相談のうえ本製品の実際の仕様をご確認ください。

5．適用範囲

以上の内容は、日本国内での取引および使用を前提としております。

日本国外での取引および使用に関しては、当社営業担当者までご相談ください。

安全上のご注意

●安全に使用していただくための表示と意味について

この取扱説明書では、パワーコンディショナを安全に使用していただくために、注意事項を次のような表示と記号で示しています。

ここで示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載しています。必ずお守りください。

表示と記号は次のとおりです。

⚠ 警告	正しい取扱いをしなければ、この危険のために、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万一の場合には重傷や死亡に至る恐れがあります。また、同様に重大な物的損害を受ける恐れがあります。
⚠ 注意	正しい取扱いをしなければ、この危険のために、時に軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは物的損害を受ける恐れがあります。

*物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットに関わる拡大損害を示します。

●図記号の説明

	●分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告
	●一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の通告
	●高温注意 特定の条件において、高温による傷害の可能性を注意する通告
	●感電注意 特定の条件において、感電の可能性を注目する通告
	●一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示

⚠ 警告

万一の場合、感電による傷害や火災が起こる恐れがあります。
分解、改造、または修理をしないでください。

万一の場合、重度の傷害や火災が起こる恐れがあります。
通風口から中に物を入れないでください。

万一の場合、感電による傷害が起こる恐れがあります。
・濡れた手で触ったり、濡れた布でふいたりしないでください。
・カバーを開けたり、内部を手で触れないでください。

万一の場合、感電により傷害が起こる恐れがあります。
取付工事、修理、改造、増設、移動、再設置などはお買い上げの販売店、または専門業者に依頼してください。

万一の場合、感電や停電用コンセントに接続した機器が突然動作して重度の傷害が起こる恐れがあります。
停電用コンセントに機器を接続したままにしないでください。

万一の場合、機能障害や停電が起こる恐れがあります。
停電用コンセントを他の家庭内のコンセントと接続しないでください。

⚠ 注意

高熱のため稀にやけどの恐れがあります。
通電中や電源を切った直後は天井部に触らないでください。

火災が稀に起こる恐れがあります。
・通風口をふさいだり、通風口から200㎜以内に物を置いたりしないでください。
・近くに燃えやすいものを置かないでください。
・近くにストーブなどの発熱物を置かないでください。
・可燃性スプレーを吹き付けないでください。

感電による傷害が稀に起こる恐れがあります。
濡れた手で停電用コンセントを抜差ししないでください。

感電による傷害や火災が稀に起こる恐れがあります。
・停電用コンセントにコンセントプラグ以外を挿入しないでください。
・コンセントプラグは停電用コンセントへ確実に接続してください。

太陽光の変動により停電用コンセントの電圧出力が停止し、人身傷害や接続した機器に機能障害が稀に起こる恐れがあります。
次の機器を停電用コンセントに接続しないでください。
・すべての医療機器、灯油やガスを用いる冷暖房機器
・パソコン、ワープロなどの情報機器
・その他、停電用コンセントに接続した機器が停止すると生命や財産に損害を及ぼす場合

安全上の要点

（1）定期点検は、4年に1回以上行ってください。

（2）定期点検は、必ず専門業者に依頼してください。

（3）日常点検（お手入れ）は必ず実施してください。

（4）廃棄される際は、お買い上げの販売店、または専門業者に依頼してください。

使用上の注意

（1） 自立運転は、AC100V で最大 15A（1.5kVA）未満の機器を接続して使用してください。

太陽光発電システムについて

パワーコンディショナは、太陽電池から得られた直流電力を、ご家庭で使用できる交流電力に変換し、系統連系することができる装置です。

家庭内の負荷が多い場合は電力会社から電力を購入（買電）し、負荷が少ない場合は電力会社へ売る（売電）ことができます。（別途、電力会社との契約が必要）

また、独立型分散電源（自立運転）としても使用できます。

■運転モードについて

運転モードは「連系運転」と「自立運転」があります。

●連系運転モード

通常時の運転モードです。

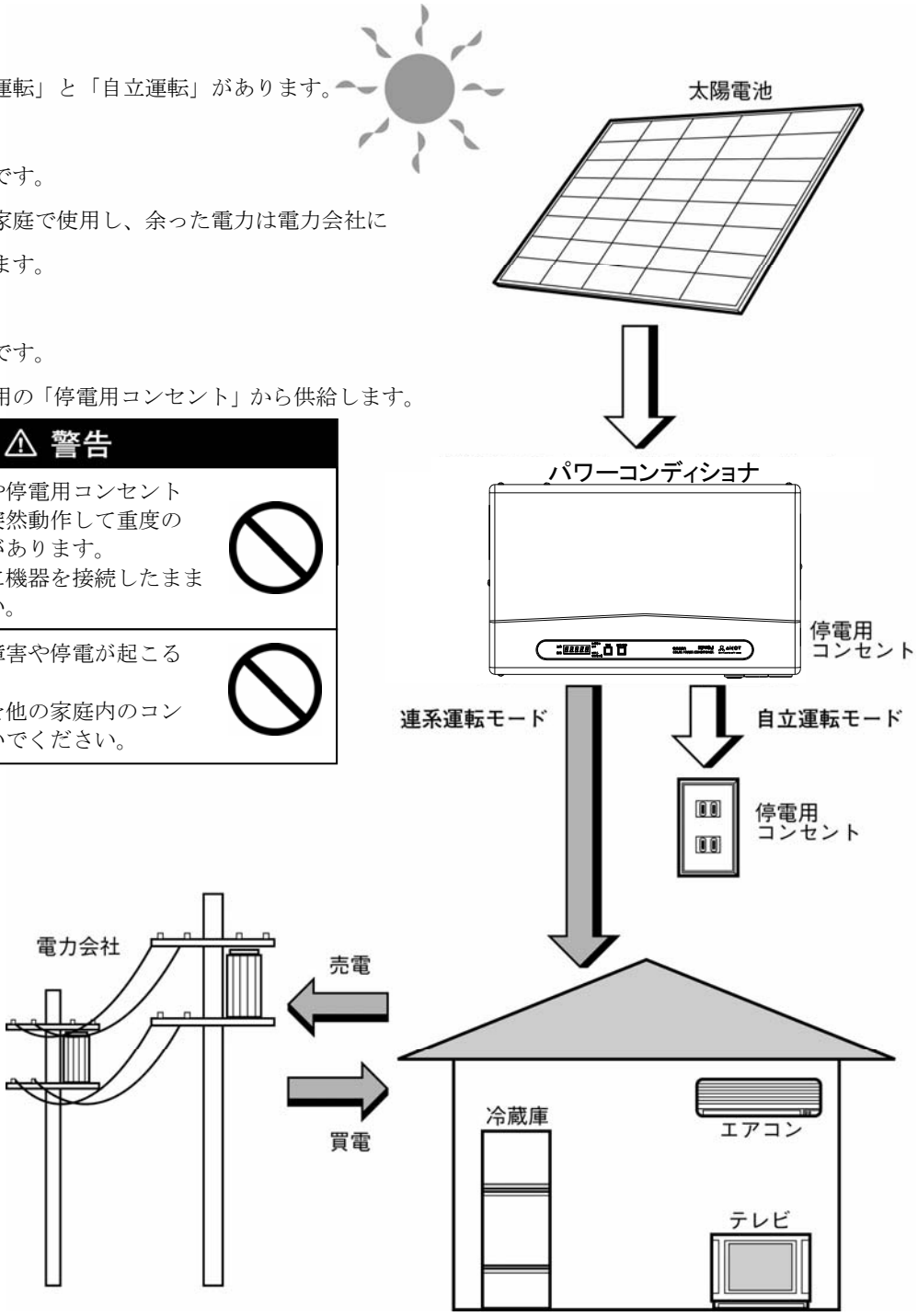
太陽電池の電力をご家庭で使用し、余った電力は電力会社に売電することができます。

●自立運転モード

停電時の運転モードです。

太陽電池の電力を専用の「停電用コンセント」から供給します。

⚠ 警告
万一の場合、感電や停電用コンセントに接続した機器が突然動作して重度の傷害が起こる恐れがあります。 停電用コンセントに機器を接続したままにしないでください。
万一の場合、機能障害や停電が起こる恐れがあります。 停電用コンセントを他の家庭内のコンセントと接続しないでください。

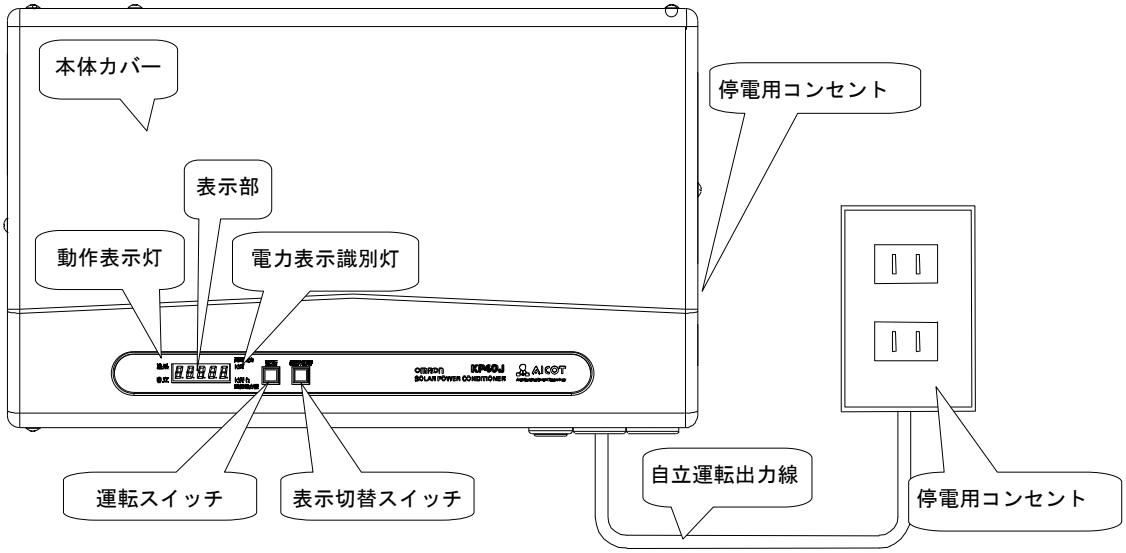


各部の名称

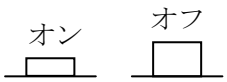
■前面

形 KP40J

パワーコンディショナ



●運転スイッチ



連系運転・自立運転を行う場合に押してください。
太陽電池の直流電力を交流電力に変換し、系統、または停電用コンセントに出力します。
系統の電圧が無い時（停電中、または PV 分岐ブレーカ‘オフ’）、運転スイッチを‘オン’にすると自立運転になります。

●表示切替スイッチ

発電電力／電圧上昇抑制動作積算時間／総積算電力量／ユーザ積算電力量の表示を切替えします。
通常の運転状態では、表示部に発電電力を表示しています。
表示切替スイッチを押すごとに、発電電力→電圧上昇抑制動作積算時間→総積算電力量→ユーザ積算電力量の表示に切替わります。
操作をしなければ、5 秒後に発電電力表示に戻ります。
ユーザ積算電力量表示はお客様が任意の期間の積算電力量を表示させる機能です。
（例えば、1 ヶ月間の積算電力量を表示させる場合などに利用できます）

●表示部

発電電力、積算電力量、エラーコード、カウントダウンなどを表示します。

●電力表示識別灯

発電電力/kW（緑）　：現在の発電電力を表示しているときに点灯します。
積算電力量/kW･h（緑）：総積算電力量、ユーザ積算電力量を表示しているときに点灯します。

●動作表示灯

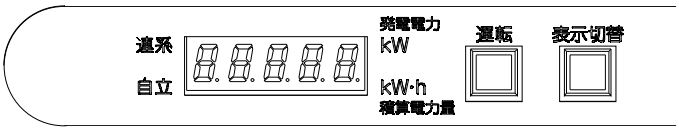
運転状態を表示します。
連系（青）　：連系運転中に点灯します。
自立（黄）　：自立運転中に点灯します。

●停電用コンセント

自立運転中のとき、使用したい電気機器を接続してください。
AC100V で最大 15A まで接続できます。

■表示部について

表示部は停止状態、発電電力、積算電力量、エラーコードなどを表示します。



停止状態　　:「 oFF 」表示

連系運転状態：　発電電力(kW)→電圧上昇抑制動作積算時間(h)→総積算電力量(kW･h)→ユーザ積算電力量(kW･h)

自立運転状態：　発電電力(kW)→電圧上昇抑制動作積算時間(h)→総積算電力量(kW･h)→ユーザ積算電力量(kW･h)

夜間　　:　無表示 →電圧上昇抑制動作積算時間(h)→総積算電力量(kW･h)→ユーザ積算電力量(kW･h)

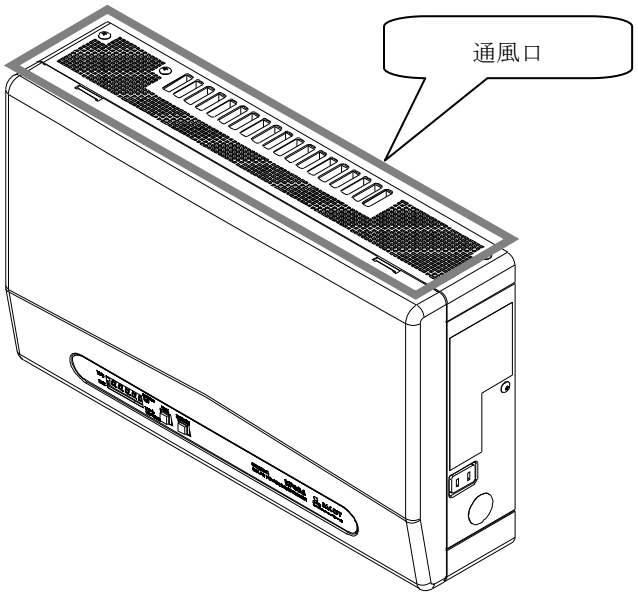
異常発生状態　：　エラーコード表示

カウントダウン状態　：　カウントダウン表示 →「 oFF 」または発電電力(kW)表示

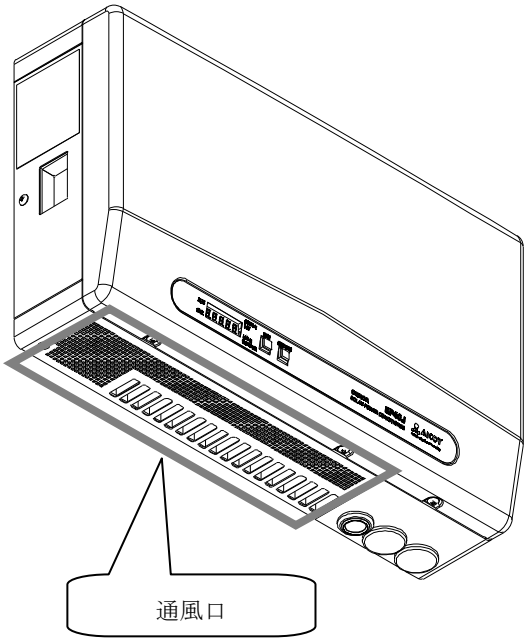
注）カウントダウン表示は投入遅延時間の経過を待っている状態です。投入遅延時間とは電力会社の電気が停電した後、停電が復旧してからパワーコンディショナが運転再開するまでに必要な時間です。

■天井部と底面

●天井部



●底面部



⚠ 警告

万一の場合、重度の傷害や火災が起こる恐れがあります。
通風口から中に物を入れないでください。

⚠ 注意

高熱のため稀にやけどの恐れがあります。
通電中や電源を切った直後は天井部に触らないでください。

火災が稀に起こる恐れがあります。
通風口をふさいだり、通風口から２００ｍｍ以内に物を置いたりしない。

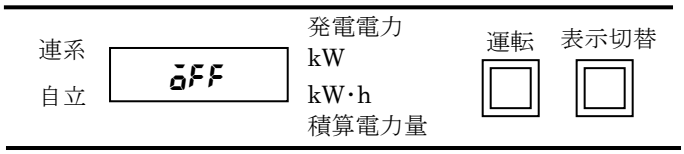
通常時の使い方（連系運転）

・接続箱のすべての開閉器を‘オン’にしてください。

（直流側）

・PV 分岐ブレーカを‘オン’にしてください。

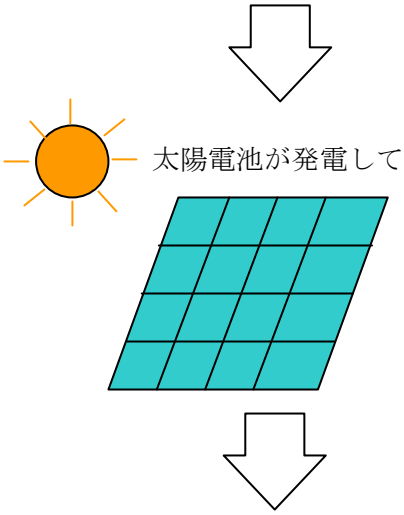
（交流側）



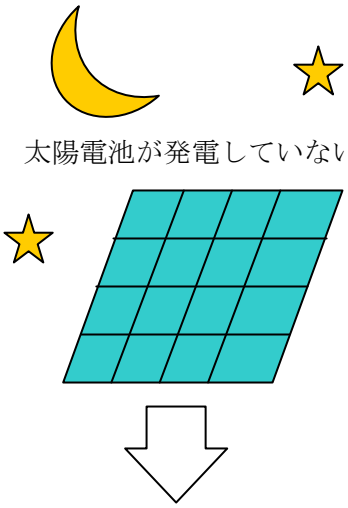
・表示部に「oFF」、表示部の中央に「.」、または、カウントダウンが表示されていれば、太陽電池は発電できる状態で待機しています。

・運転スイッチを‘オン’にしてください。

オン

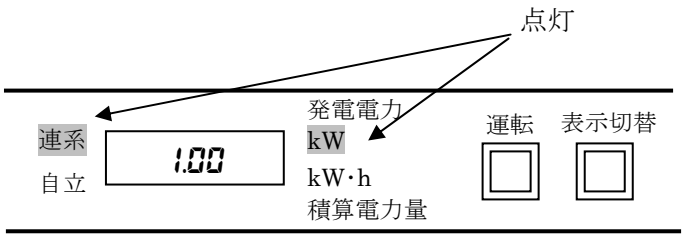


太陽電池が発電していると



太陽電池が発電していないと

太陽電池が発電するまで、すべての表示は消灯しています。



連系ランプが点灯し、運転を開始します。
カウントダウンを表示している場合は、
カウントダウン終了後に連系ランプが点灯し、運転を開始します。

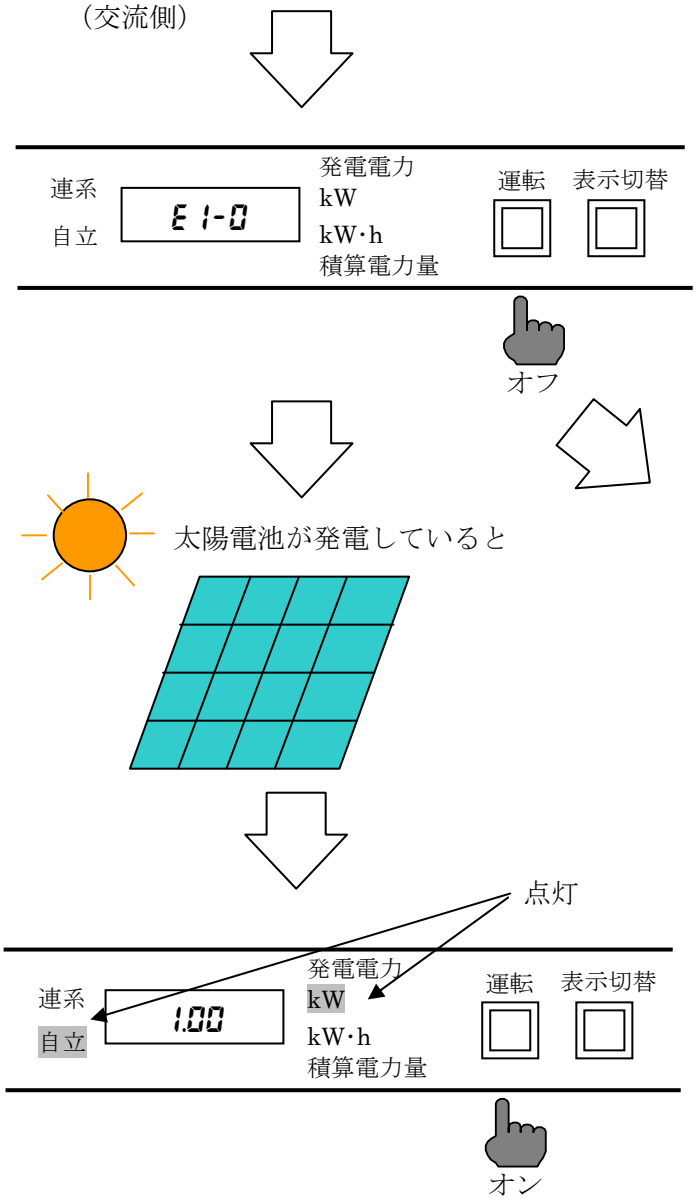
・運転を停止させる場合は、運転スイッチを‘オフ’にしてください。

停電時の使い方（自立運転）

パワーコンディショナは、停電などにより電力会社から電力が供給されなくなっても、太陽電池が発電する電力を使用することができます。ここでは、その方法について説明します。

・PV 分岐ブレーカを‘オフ’にしてください。

（交流側）



・表示部に「E1-0」、表示部の中央に「.」、または、カウントダウンが表示されていれば、太陽電池は発電しています。

・連系運転で発電していた場合、運転スイッチを一度‘オフ’にしてください。

太陽電池が発電するまで、すべての表示は消灯します。

運転スイッチを‘オン’してください。

自立ランプが点灯し、運転を開始します。

停電用コンセント（AC100V／15A）に使用したい機器を接続してください。

・運転を停止させる場合は、運転スイッチを‘オフ’にしてください。

・運転を停止した後、PV 分岐ブレーカを‘オン’にすると表示部にカウントダウンを表示します。

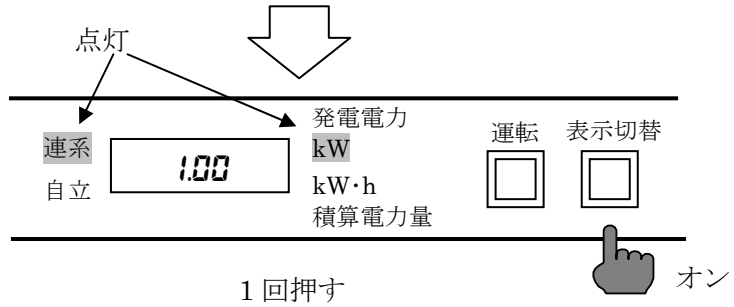
・接続する機器の電力の最大が 1.5kVA 以内(AC100V 最大 15A 以内)になるようにしてください。

・発電量は天候により変化しますので停電すると困る様な機器（パソコン、医療機器等）は接続しないでください。また、掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用すると、保護機能が働き停止することがあります。

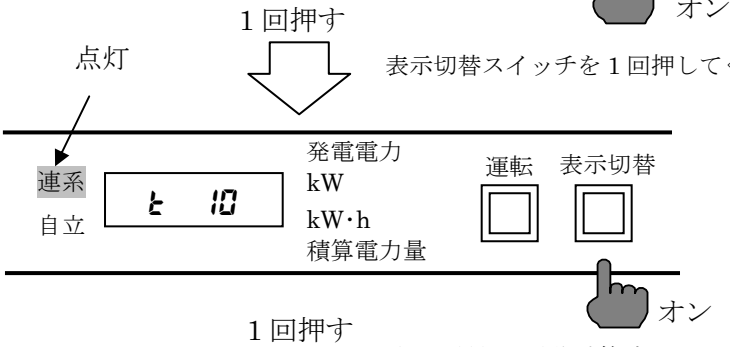
積算電力量の表示方法（昼間）

パワーコンディショナが発電した電力量の積算量を確認することができます。積算電力量には、お客さまの操作によりリセットできない総積算電力量と、リセットができるユーザ積算電力量の 2 種類があります。ユーザ積算電力量は、1 ヵ月間の積算電力量を表示させる場合に使用すると便利です。

・運転スイッチが‘オン’していることを確認してください。



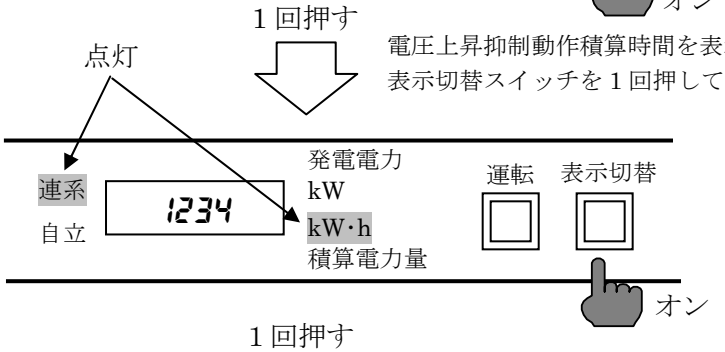
＜発電電力表示状態＞



表示切替スイッチを 1 回押してください。

＜電圧上昇抑制動作積算時間＞

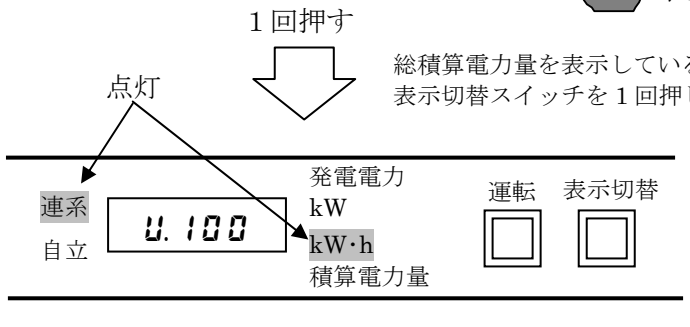
・最上位桁が t 表示となり電圧上昇抑制が動作した積算時間を表示します。
・積算時間が 9999h を越えると、0 表示に戻ります。
・5 秒間表示切替スイッチを押さないと発電電力表示に戻ります。



電圧上昇抑制動作積算時間を表示している間に
表示切替スイッチを 1 回押してください。

＜総積算電力量表示状態＞

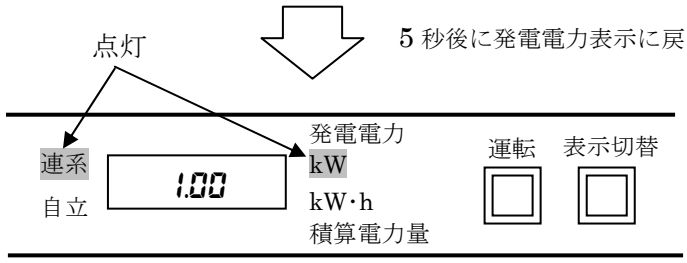
・総積算電力量を表示します。
・総積算電力量が 99999kW･h を越えると、0kW･h 表示に戻ります。
・5 秒間表示切替スイッチを押さないと発電電力表示に戻ります。



総積算電力量を表示している間に、
表示切替スイッチを 1 回押してください。

＜ユーザ積算電力量表示状態＞

・最上位桁が U 表示となりユーザ積算電力量を表示します。
・ユーザ積算電力量が 9999kW･h を越えると、0kW･h 表示に戻ります。

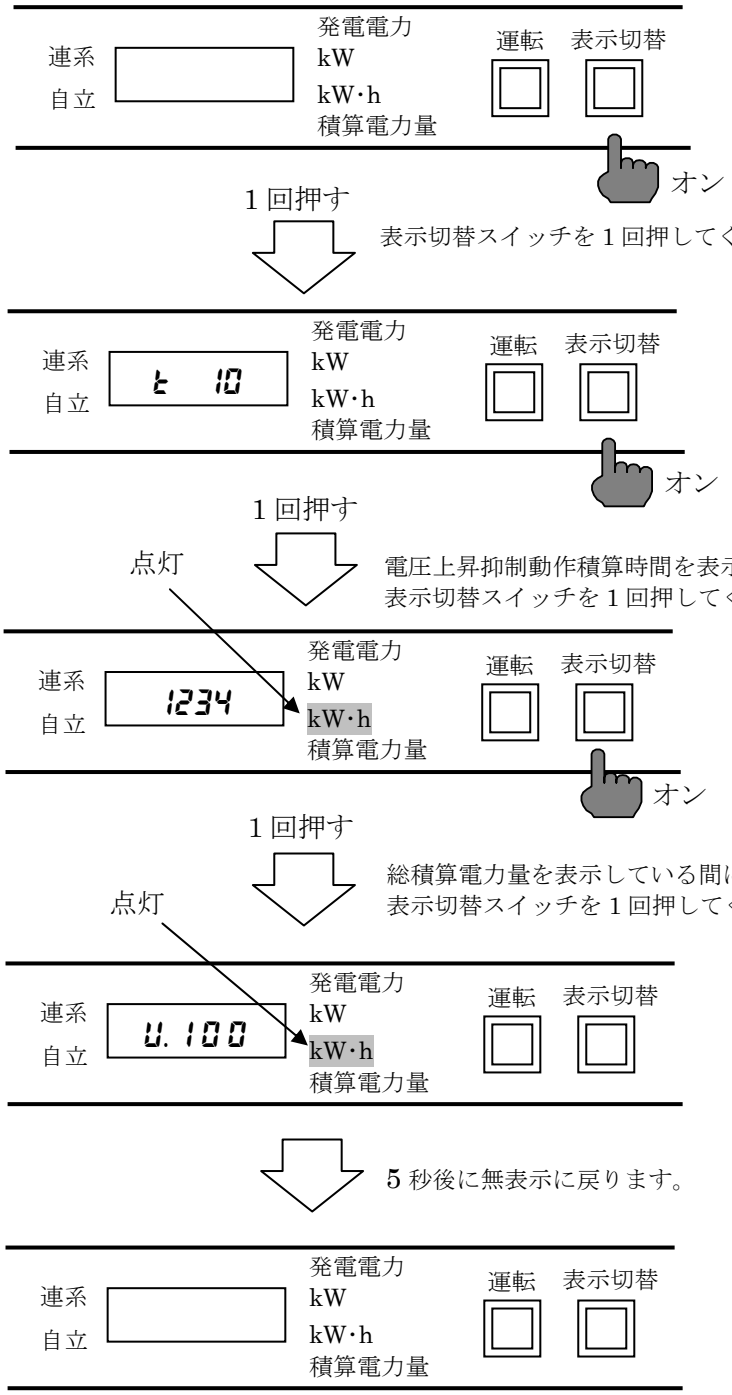


5 秒後に発電電力表示に戻ります。

＜発電電力表示状態＞

積算電力量の表示方法（夜間）

・運転スイッチが‘オン’になっていることを確認してください。



＜無表示状態＞

＜電圧上昇抑制動作積算時間＞
- 最上位桁が t 表示となり電圧上昇抑制が動作した積算時間を表示します。
- 積算時間が 9999ｈを越えると 0 表示に戻ります。
- 5 秒間表示切替スイッチを押さないと無表示に戻ります。

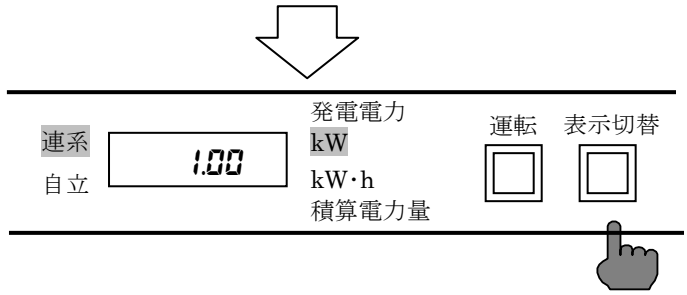
＜総積算電力量表示状態＞
- 総積算電力量を表示します。
- 総積算電力量が 99999kW･h を越えると、0kW･h 表示に戻ります。
- 5 秒間表示切替スイッチを押さないと無表示に戻ります。

＜ユーザ積算電力量表示状態＞
- 最上位桁が U 表示となりユーザ積算電力量を表示します。
- ユーザ積算電力量が 9999kW･h を越えると、0kW･h 表示に戻ります。

＜無表示状態＞

ユーザ積算電力量のリセット方法

・連系運転スイッチが‘オン’になっていることを確認してください。

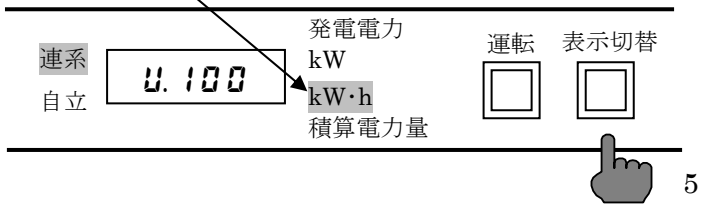


＜発電電力表示状態＞

3 回押す

点灯

表示切替スイッチを 3 回押してください。

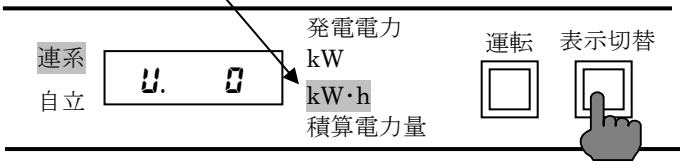


＜ユーザ積算電力量表示状態＞
・最上位桁が U 表示となりユーザ積算電力量を表示します。

5 秒以上押し続ける

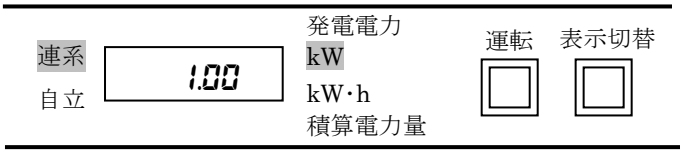
点灯

ユーザ積算電力量が表示されている間に、表示切替スイッチを 5 秒以上押し続けてください。



＜ユーザ積算電力量表示状態＞
・ユーザ積算電力量がリセットされ、0kW･h 表示となります。

5 秒後に発電電力表示に戻ります。



＜発電電力表示状態＞

お手入れ

■ お手入れのしかた

・お手入れは、安全のために夜間など発電が停止している状態で行ってください。

・PV 分岐ブレーカ‘(交流用）を‘オフ’にしてください。

・ほこりを掃除機などで取り除き、柔らかい布で全体をからぶきしてください。

⚠ 警告

万一の場合、重度の傷害や火災が起こる恐れがあります。
通風口から中に物を入れないでください。

万一の場合、感電による傷害が起こる恐れがあります。
・濡れた手で触ったり､濡れた布でふいたりしないでください。
・カバーを開けたり、内部を手で触れないでください。

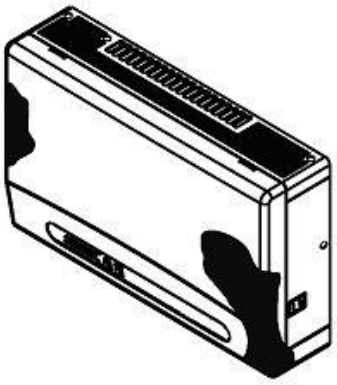
⚠ 注意

高熱のため稀にやけどの恐れがあります。
通電中や電源を切った直後は天井部に触らないでください。

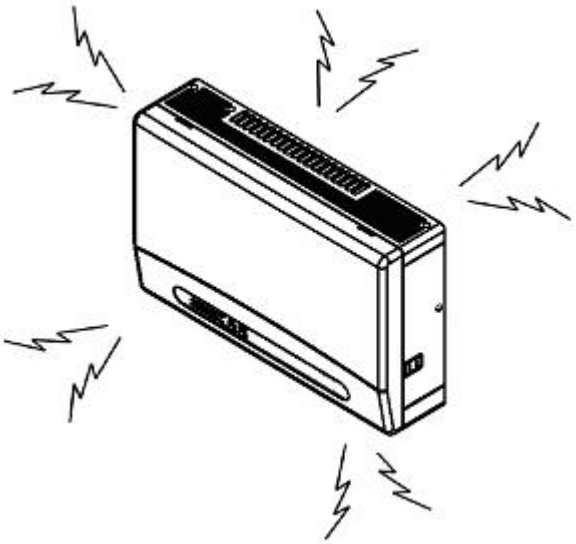
日常点検

ご使用の際は、以下の３つの項目について点検してください。

(1) 表面がさびたり、腐ったりしていませんか？

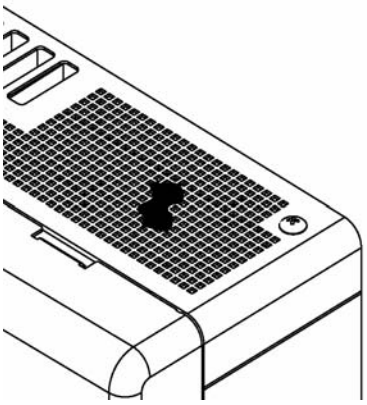


（2）異常な音やにおいがしていませんか？



（3）通風口が目づまりしていませんか？

もし、つまっていたら 13 ページ「お手入れ」の
内容にしたがって清掃してください。



定格と仕様

■定格

定格容量	4.0kW
定格入力電圧	DC250V
入力電圧範囲	DC0～370V
定格交流出力電圧	AC202±12V
定格周波数	50/60Hz
電力変換効率 （JIS C 8961 準拠）	94.5%
出力基本波力率	95%以上（1/8～定格出力時）
電流歪率	総合 5%以下　各次 3%以下
使用周囲温度	-10～+40℃
使用周囲湿度	25～85%（結露なし）

■仕様

インバータ方式	連系運転時	電圧型電流制御方式
	自立運転時	電圧型電圧制御方式
制御方式	最大電力追従制御	
スイッチング方式	PWM 方式	
絶縁方式	非絶縁トランスレス方式（昇圧チョッパ方式）	
出力相数	単相 2 線式（接続方式単相 3 線）	
保護機能	OVR, UVR, OFR, UFR	
	単独運転検出	(1) 周波数変化率検出（受動的方式）
		(2) 周波数フィードバックと無効電力ステップ注入方式（能動的方式）
	直流分検出	
	直流地絡検出	
	電圧上昇抑制	
外形寸法	W460×H280×D116mm	
質量	13kg	

■整定値一覧

保護機能	整定値内容	工場出荷時設定	整定範囲
OVR （交流過電圧継電器）	整定値	115.0（V）	115.0/110.0/112.5/120.0
	整定時間	1.0（s）	1.0/0.5/1.5/2.0
UVR （交流不足電圧継電器）	整定値	80.0（V）	80.0/85.0/87.5/90.0
	整定時間	1.0（s）	1.0/0.5/1.5/2.0
OFR （周波数上昇継電器）	整定値（50Hz）	51.0（Hz）	51.0/50.5/51.5/52.0
	整定値（60Hz）	61.0（Hz）	61.0/60.5/61.5/62.0
	整定時間	0.5（s）	0.5/1.0/1.5/2.0
UFR （周波数低下継電器）	整定値（50Hz）	48.5（Hz）	48.5/48.0/49.0/49.5
	整定値（60Hz）	58.0（Hz）	58.0/58.5/59.0/59.5
	整定時間	0.5（s）	0.5/1.0/1.5/2.0
投入遅延時間	整定時間	300（s）	300/150/200/2
電圧上昇抑制 (電流制御)	整定値	109.0（V）	109.0/107.0/107.5/108.0/108.5/ 109.5/110.0

故障かな？と思ったら

●運転スイッチを‘オン’にしてもすぐに運転しない。

・太陽電池の発電量が不足しています。 日照量が増えると運転を開始します。

●動作表示灯の「連系」が点灯しない。

・運転スイッチを確認し、‘オフ’になっていれば、‘オン’にしてください。

●停電用コンセントに接続した機器が動かない。

・PV 分岐ブレーカ（交流用）が‘オン’になっていれば、‘オフ’にしてください。
・運転スイッチを確認し、‘オフ’になっていれば、‘オン’にしてください。
・パワーコンディショナから供給する電力が不足している場合は、接続している機器を減らしてください。

●晴れているのに発電しない。

・自立運転になっている可能性があります。(自立ランプ点灯)
自立運転の必要がなければ、運転スイッチを‘オフ’した後、PV 分岐ブレーカ（交流用）を‘オン’、運転スイッチを再度‘オン’にしてください。
自立運転中は、停電用コンセントに接続されている機器が消費している電力を表示します。

●表示部の“発電電力/kW･h”のランプ(緑)が点滅している。

・電圧上昇抑制機能が働いています。
電圧上昇抑制機能については、施工・保守マニュアル 34 ページをお読みください。

●表示部にエラーコードを表示して、動作しない。

・まず運転スイッチをいったん‘オフ’にし、再度‘オン’にしてください。(エラーリセット)
エラーが解消されれば運転を再開します。
・エラーの内容については、次項目のエラーの確認方法を参照ください。
・エラーが解消されない場合は、お買い上げの販売店に連絡してください。

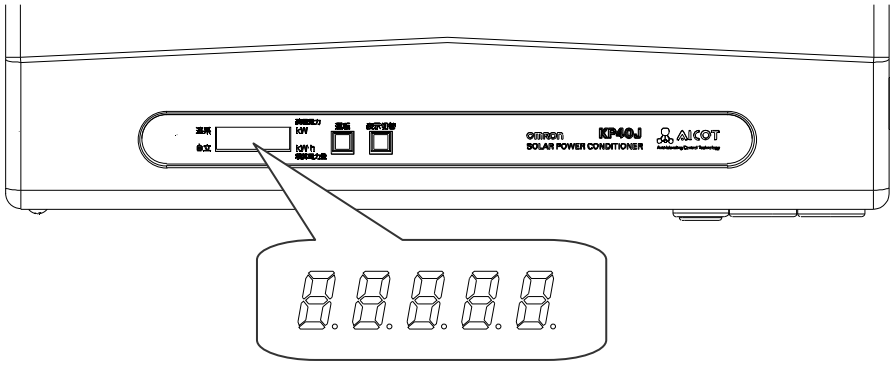
●夜間に表示切替スイッチを‘オン’しても電圧上昇抑制動作積算時間、総積算電力量、ユーザ積算電力量を表示しない。

・PV 分岐ブレーカ（交流用）を確認し‘オフ’になっていれば、‘オン’にしてください。

エラーの確認方法

異常が発生すると、表示部にエラーコードが表示されます。

エラーの内容を確認し、正しく処置してください。



■エラーの確認

・現在発生しているエラーは点灯表示されます。

・保持しているエラーが複数個ある場合でも、一つのエラーコードだけを表示します。

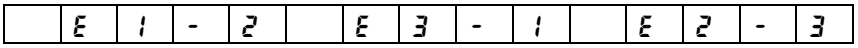
・エラーが継続している間、連続して表示します。

■過去のエラー（エラー履歴）の確認方法

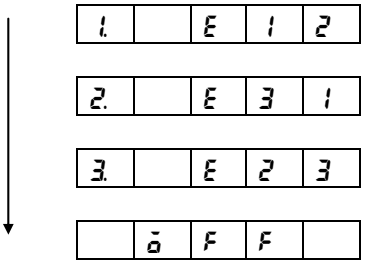
・運転スイッチが ‘オフ’のときに表示切替スイッチを押すと、エラー履歴を表示部に表示します。
・最新のエラーから、発生の順に番号とエラーコードを表示します。
・エラーコードは、E1-1の場合、E11のように、ハイフォンを省略して表示されます。
・エラーの履歴は、最大50個表示します。
・発生したエラーが50個を超えると、古い順に消去されます。

(例)過去に、E1-2 エラーと、E3-1 エラーと、E2-3 エラーが発生した場合

内部データ



表示



2 秒後次のエラーへ

2 秒後次のエラーへ

(例)エラー履歴が無い場合は、 を表示します。

エラーの内容と処置方法

E1-0

●エラーの内容 電力会社からの電圧が低下したため、停電検出が働きました。

●処置 電力会社からの電圧が正常に戻ると、自動的に運転を再開します。
PV分岐ブレーカが‘オフ’になっていないか、確認をしてください。

E1-1

●エラーの内容 電力会社からの電圧がOVRの整定値（工場出荷時設定：115V）を越えたため停止しました。

●処置 電力会社からの電圧が正常に戻ると、自動的に運転を再開します。

E1-2

●エラーの内容 電力会社からの電圧がUVRの整定値（工場出荷時設定：80V）を下回ったため停止しました。

●処置 電力会社からの電圧が正常に戻ると、自動的に運転を再開します。

E1-3

●エラーの内容 電力会社の交流周波数がOFR整定値よりも高く（定格周波数の2%程度）なったため停止しました。

●処置 電力会社からの周波数が正常に戻ると、自動的に運転を再開します。

E1-4

●エラーの内容 電力会社の交流周波数がUFR整定値よりも低く（定格周波数の2%程度）なったため停止しました。

●処置 電力会社からの周波数が正常に戻ると、自動的に運転を再開します。

E1-5

●エラーの内容 電力会社からの電気に異常が発生し、単独運転検出（受動的方式）が働きました。
（施工・保守マニュアル34ページを参照）

●処置 電力会社からの電気が正常に戻ると、自動的に運転を再開します。

E1-6

●エラーの内容 電力会社からの電気に異常が発生し、単独運転検出（能動的方式）が働きました。
（施工・保守マニュアル34ページを参照）

●処置 電力会社からの電気が正常に戻ると、自動的に運転を再開します。

E1-7

●エラーの内容　電力会社の100V供給線O-UまたはO-Wの電圧が123Vを越えました。

●処置　電力会社からの電圧が正常に戻ると、自動的に運転を再開します。

E1-8

●エラーの内容　電力会社の100V供給線O-UまたはO-Wの電圧が25Vを下回りました。

●処置　電力会社からの電圧が正常に戻ると、自動的に運転を再開します。

E2-1

●エラーの内容　太陽電池の電圧が370Vを越えました。早急に点検が必要です。

●処置　パワーコンディショナを運転停止させ、接続箱及びパワーコンディショナ端子台P-Nで直流電圧をチェックしてください。電圧に異常がない場合は、すみやかに、販売店に連絡願います。

E2-3

●エラーの内容　太陽電池側で漏電を検知しました。対等電池側の機器の絶縁抵抗が低下しています。

●処置　運転スイッチをいったん‘オフ’にし、再度‘オン’にしてください。
エラーが解消されない場合は、お買い上げの販売店に連絡してください。
なお、接続箱の各系列端子台（及び屋内配電線）で絶縁抵抗をチェックしてください。
また、発生前の天候もご確認ください。

E3-4

●エラーの内容　パワーコンディショナ内部が高温になっています。

●処置　上面と底面の通風口を確認し、ふさいでいるものがあれば取り除いてください。
温度が正常に戻ると、自動的に運転を再開します。

表示ユニット(形KP-DP1)の表示部の“発電電力”の文字が点滅する

表示ユニット(形KP-CM-D1)の表示部に“電圧抑制中”の文字が表示される

パワーコンディショナの「発電電力」または「発電電力量」が点滅する

●エラーの内容 パワーコンディショナの動作により、電力会社からの電圧が電圧上昇抑制の設定値より高くなっています。（施工・保守マニュアル34ページを参照）

●処置 電圧上昇抑制の設定スイッチの変更について、電力会社に相談してください。

その他のエラーコード

●エラーの内容 パワーコンディショナが異常な状態を検出しています。

●処置 まず運転スイッチを一旦‘オフ’にし、再度‘オン’にしてください。
エラーが解消されれば運転を再開します。
エラーが解消されない場合は、お買い上げの販売店に連絡してください。

頻繁に主幹漏電ブレーカが動作する

●原因 家電製品、パワーコンディショナ、太陽電池において漏電が発生しています。

●処置 家電製品に漏電を起こしているものはないか確認してください。
確認の結果異常が見つからない場合は、お買い上げの販売店にパワーコンディショナ、太陽電池の絶縁抵抗測定についてご相談してください。
また、発生時の状況についてもお伝えください。（雨が降った翌日の明け方等）

エラー表示一覧

●系統異常

E1-0 停電（系統）
E1-1 交流過電圧継電器（OVR）
E1-2 交流不足電圧継電器（UVR）
E1-3 周波数上昇継電器（OFR）
E1-4 周波数低下継電器（UFR）
E1-5 単独運転検出　受動的方式
E1-6 単独運転検出　能動的方式
E1-7 瞬時過電圧検出
E1-8 瞬時電圧低下検出

●太陽電池異常

E2-1 太陽電池過電圧検出
E2-3 直流地絡検出

●装置異常（パワーコンディショナ内部異常）

E3-1 直流過電流検出
E3-2 交流過電流検出
E3-4 装置温度異常

●自己診断異常（パワーコンディショナ内部異常）

E4-2 特性異常
E4-3 電解コンデンサ容量異常、
インバータ回路異常（直流分検出、過電流検出、ハード異常）
E4-4 ROMバージョン異常
E4-5 制御電源異常
E4-6 EEPROM Sum値異常
E4-7 EEPROM異常

●PCB チェックエラー（パワーコンディショナ内部異常）

E5-1 連系リレー動作異常
E5-2 表示ハード異常
E5-3 DC/DCコン過電圧検出
E5-4 DC/DCコン不足電圧検出
E5-5 地絡センサ断線

●アラーム（警報）

A1-5 自立運転過負荷状態

アフターサービスと保証

■修理を依頼されるときは

次のような場合は、パワーコンディショナの運転を停止し、お買い上げの販売店に連絡してください。

●頻繁にエラー表示が点灯する　●ブレーカが頻繁にオフになる　●誤って異物や水が内部に入った

■ご連絡の際は、次の項目をお知らせください。

●製造番号　●お買い上げ年月　●ご住所、お名前、電話番号

●故障内容（表示部の内容）

■保証書について

●保証書は、必ず★欄が記入されていることをご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
記入されていない場合は、ただちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

●保証書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

●保証期間は、お買い上げから 1 年間です。

●ご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

【商品に関する販売／お問い合わせ先】

オムロン株式会社　インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー　営業統轄事業部
西日本支店

大阪：TEL 06-6347-5804
大阪市北区堂島 1-6-20　堂島アバンザ 16F(〒530-0003)

オムロンフィールドエンジニアリング株式会社　ソーラシステム相談窓口

TEL 0120-066825　フリーダイヤル　受付時間 9:00～17:00（土、日、祝日は除く）

保 証 書

形式 形 **KP40J**	製造番号☆	
保証期間 １年間	お買い上げ年月日 年　　月　　日	
お客様☆	ご住所	
	電話番号	（　　）　　－
	お名前	

販売店★	店名	
	住所	
	電話番号	（　　）　　－

★販売店様へ

製造番号、お買い上げ年月日、貴店名、住所、電話番号を記入または捺印の上、保証書をお客様にお渡しください。

ご注意

次のような場合は、保証期間中であっても有償修理になります。

（１）誤った使用による故障、または損傷

（２）お買い上げ後の設置場所の移動、または落とした場合などによる故障、または損傷

（３）改造、または使用者の責任に帰すと認められる故障、または損傷

（４）本保証書のご提示がない場合

（５）本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合

（６）接続して他の機器、その他の外部要因に起因して本製品に故障を生じた場合

（７）出張修理の場合（出張経費と技術料）

（８）火災または天災による故障や損傷

●万一、本商品の不具合により発電が停止した場合でも、発電停止期間中の電力の補償はいたしかねます。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。

オムロン株式会社
インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー
コントロール機器統轄事業部 パワーエレクトロニクス事業推進部
〒600-8530　　京都市下京区塩小路通堀川東入